鈴鹿工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	英語Ⅳ（日下）

科目基礎情報

科目番号	0063	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	電子情報工学科	対象学年	4
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	Intensive Training for the TOEIC Test: Student Book（成美堂）、 Intensive Training for the TOEIC Test: Word Book（成美堂）その他適宜プリントを配布する．参考書（自己学習教材）：『TOEICテスト新公式問題集新形式問題対応編 』，『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 1-3』(国際ビジネスコミュニケーション協会)		
担当教員	日下 隆司		

到達目標

【英語運用能力向上のための学習：英語コミュニケーション】
1．自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取り、その内容を把握することができる。
2．関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取り、その内容を把握することができる。

3．【グローバリゼーション・異文化多文化理解】
それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら、その国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明し、解釈できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目１	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて，概要を把握し，情報を聞き取り，その内容の把握を他に適用することができる.	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて，概要を把握し，情報を聞き取り，その内容を把握することができる.	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて，概要を把握し，情報を聞き取り，その内容を把握することができない.
評価項目２	関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し，必要な情報を読み取り，その内容の把握を他に適用することができる.	関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し，必要な情報を読み取り，その内容を把握することができる.	関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し，必要な情報を読み取り，その内容を把握することができない.
評価項目３	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い，その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら，その国の生活習慣や宗教的信条，価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明，解釈の適用ができる.	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い，その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら，その国の生活習慣や宗教的信条，価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明し，解釈できる.	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い，その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら，その国の生活習慣や宗教的信条，価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明も，解釈もできない.

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	英語Ⅰ,Ⅱ,Ⅲで得た英語の知識技能を活用して，日常的なトピックの問題演習を通して，英語によるコミュニケーション能力を養うことを目指す．国際社会でも活躍できるように、広い視野を持ち、英語で積極的に情報を受信・発信する基礎力を養うことをねらいとする.
授業の進め方・方法	・すべての内容は学習・教育到達目標(Ａ)<視野>[JABEE基準1(2)(a)]および（Ｃ） <英語>[JABEE基準1(2)(f)]に対応する ・「授業計画」における「到達目標」は，この授業で習得する「知識・能力」に相当するものとする
注意点	<到達目標の評価方法と基準>「授業計画」の「到達目標」１～５の習得の度合を中間試験，期末試験，小テスト，課題により評価する．１～5に関する重みはほぼ同じである．合計点の60%の得点で，目標の達成を確認できるレベルの試験を課す. <学業成績の評価方法および評価基準>前期中間・前期末・後期中間・学年末の試験結果を60%，小テストおよび課題演習等の結果を40%として，学期毎に評価し，これらの平均値を最終評価とする．但し，前期中間・前期末・後期中間のそれぞれの評価で60点に達していない学生については再試験を行う場合があり，再試験の成績が該当する期間の成績を上回った場合には，60点を上限としてそれぞれの期間の成績を再試験の成績で置き換えるものとする．学年末試験については再試験を行わない. <単位修得要件>学業成績で60点以上を取得すること. <あらかじめ要求される基礎知識の範囲>英語Ⅰ～Ⅲで学習した英単語，熟語，英文法の知識. <レポートなど>授業内容に関連したレポート等の課題を課すことがある．また，予習・復習等の自己学習状況を確認するため，小テストを実施する. <備考>毎回の授業分の予習をし，分からない部分を授業で解決するという明確な目標を持って，授業には積極的に取り組むこと．授業には必ず英和辞典（電子辞書でも可）を用意すること． 本科目は英語Ⅴの基礎となるものである.

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	序論（授業の進め方，勉強の仕方，評価方法） Preliminary Lesson: Mini TOEIC Test	・授業の進め方を理解できる　　・TOEICの出題形式と各問題で求められるスキルについて理解できる
		2週	Lesson One: 写真描写問題	１. ある場面の写真を見ながら英語を聞き, 状況を把握できる. ２. 英語の問いかけに対して適切な応答ができる. ３. 対話を聞き, その内容のポイントを把握できる. ４. 説明やアナウンスを聞き, その内容のポイントを把握できる. ５. 状況を的確に表現するために必要な語彙を選べる. ６. 説明文の中で, 内容を的確に表現するための語彙を選べる. ７. 説明的文章の内容を把握し, ポイントを理解できる.
		3週	TOEIC問題演習１	上記１～7
		4週	Lesson Two: 応答問題	上記１～7
		5週	TOEIC問題演習２	上記１～7

		6週	Lesson Three: 会話文問題	上記１～7
		7週	TOEIC問題演習３	上記１～7
		8週	中間試験	上記１～７および 8. TOEICで350点以上取得レベルの英語語彙を理解できる.
	2ndQ	9週	Lesson Four: 説明文問題	上記１～7
		10週	TOEIC問題演習４	上記１～7
		11週	Review of TOEIC Listening Section	上記１～7
		12週	TOEIC問題演習５	上記１～7
		13週	Lesson Five (1): 短文穴埋め問題	上記１～7
		14週	TOEIC問題演習６	上記１～7
		15週	Lesson Five (2): 短文穴埋め問題	上記１～7
		16週		
後期	3rdQ	1週	TOEIC Prctice Test	上記１～7
		2週	Lesson Six (1): 長文穴埋め問題	上記１～7
		3週	TOEIC問題演習７	上記１～7
		4週	Lesson Six (2): 長文穴埋め問題	上記１～7
		5週	TOEIC問題演習８	上記１～7
		6週	Lesson Seven (1): 読解問題	上記１～7
		7週	TOEIC問題演習９	上記１～7
		8週	中間試験	上記１～７および 9. TOEICで400点以上取得レベルの英語語彙を理解できる.
	4thQ	9週	Lesson Seven (2): 読解問題	上記１～7
		10週	TOEIC問題演習１０	上記１～7
		11週	Lesson Seven (3): 読解問題	上記１～7
		12週	TOEIC問題演習１１	上記１～7
		13週	Review of TOEIC Reading Section	上記１～7
		14週	TOEIC問題演習１２	上記１～7
		15週	総括：What was the TOEIC Test?	上記１～7
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
	工学基礎	グローバリゼーション・異文化多文化理解	グローバリゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。	3	

評価割合

	試験	課題	合計
総合評価割合	60	40	100
基礎的能力	60	40	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0